様式第５号

例　（審査基準日）
令和3年3月31日

審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記入

（用紙Ａ４）

3年　3月　31日

技能者名簿

通番	氏名	生年月日	評価日	レベル向上の有無	控除対象
1	埼玉　四郎	S51年7月10日	H29年1月30日		○
2	大宮　五郎	H2年1月15日	R2年4月17日	○	
3	熊谷　六郎	H3年9月7日	R1年6月23日	○	
合計	3　（人）			2　（人）	1　（人）

技術職員名簿（20005帳票）に記載されている者についても記入可

審査基準日以前三年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の三年前の日以前に受けた最新の評価の区分より１以上上位であったときに○

審査基準日の3年前の日以前に能力評価基準により受けた評価が最上位の区分（レベル4）に該当するときに○

CPD単位を取得した技術者とレベルアップした技能者のいずれも該当なし（20004帳票において、項番61 CPD単位取得数と項番62 技能レベル向上者数がいずれも0）の場合、20004帳票項番62の技能者数と技能者名簿（様式第5号）の記載及び確認書類の提出は省略可とする。（この場合、技能者は０人とみなして審査する。）

項番62 技能者数

項番62 技能レベル向上者数

項番62 控除対象者数

記載要領

1　この表は、審査基準日における許可を受けた建設業に従事する職員のうち、審査基準日以前三年間に、建設工事の施工に従事した者であって、建設業法施行規則第十四条の二第二号チ又は同条第四号チに規定する建設工事に従事する者に該当する者（ただし、建設工事の施工の管理のみに従事した者は除く。）について作成すること。

2　「評価日」の欄には、技能者が審査基準日以前において認定能力評価基準により評価を受けている場合、その最も新しい評価を受けた日を記載すること。

3　「レベル向上の有無」の欄には、審査基準日以前三年間に、能力評価基準により受けた評価の区分が、審査基準日の三年前の日以前に受けた最新の評価の区分より１以上上位であった者に該当する場合に、○印を記載すること。

4　「控除対象」の欄には、審査基準日の３年前の日以前に能力評価基準により評価が最上位の区分に該当するとされた者の場合に、○印を記載すること。

5　本表の最後の行には、作成対象となる技能者、「レベル向上の有無」の欄に○印が記載された者、「控除対象」の欄に○印が記載された者、それぞれの合計人数を記載すること。